



本日、持久走記録会を実施しました。多くの保護者や家族の皆様に応援していただき、ありがとうございました。一番感心したのは、全員の子供が、最後まで完走したことです。大変苦しそうな子供もいました。しかし、それを乗り越え、全員がゴールしました。本人、仲間や先生方、そして保護者・家族の皆様のおかげです。粘り強い気持ちと、温かい励ましの声援があったからです。



また、全員がふざけることなく、真剣に走っていたことです。今後、持久走記録会の経験を、実生活に生かすことを願っています。

## 【28年間井波っ子を支えてきた「電子タイマー」】

○ 今日の持久走記録会でも、電子タイマー（写真）を使いました。裏には、「寄贈 日本生命財団 平成5年」と書いてあります。



○ 思えば、井波小学校では、平成4年度の2学期から、毎朝7:30開始の「**スーパーチャレンジタイム**」を設け、登校した子供からグラウンドに出て走りました。平成5年にこの電子タイマーが寄贈され、子供たちは台の上に置かれたこの電子タイマーを見ながら、各自が決めた距離を走り、記録を計り、それをカードに記入していました。

○ このきっかけは、5月に行われた東砺波郡の連合運動会での「全員持久走」で、井波小学校の持久力不足が課題になりました。そこで、「**強い井波っ子**」を育てるという意図で、始めたものです。自由参加だったのですが、ほぼ全員が参加していました。おかげで、翌年度の連合運動会では、井波小学校の全員持久走の結果がかなりアップし、**この活動の効果を確信**したことを記憶しています。

○ 平成5年度の私（31歳）は、体力づくり担当でした。毎朝、この電子タイマーを運び、グラウンドや体育館にセットしていました。正直、毎朝運ぶのはつらかったです。しかし、私もこの電子タイマーを見ながら毎朝走り、1kmの記録が2か月で1分も縮まり、体を鍛えられました。28年間井波っ子を支えてきた電子タイマーに感謝です。